

学習したことを生かして

「モチモチの木」

齋藤

隆介

めあて

豆太は、どんな様子で医者さまをよびに行ったのかをそとづつしよう

医者さまを呼びに行く豆太の様子

- ・小犬みたいに体を丸めて
- ・表戸を体でふつとばして
- ・ねまきのまんま
- ・はだしで

豆太の気持ち
 ・じさまはだじ
 ・ようぶかな
 ・早くよびに行かないとじさまがあぶない
 ・こわい

一面の真っ白い霜
 雪みたい



- ・霜が足にかみついた
- ・足から血が出た
- ・なきなき走った
- ・いたくて、寒くて、こわかった

すい星
 月

豆太はどつして、「なきなき走った」のでしょつ。

豆太の気持ち

- ・じさまが心ばいだつたから。
- ・こわかつたから。
- ・心ぼそかつたから。

6 / 16 時間目 指導略案
 活動のねらい

使用するワークシート…

豆太が医者さまを必死に呼びに行く様子や気持ちを読み取らせる。

1 「霜月二十日のばん」の豆太の気持ちを振り返る。

前時に書いた豆太への手紙を基におくびような豆太について押さえる。

2 「豆太は見た」70ページ13行目までを音読する。

3 医者さまを呼びに行く豆太の様子が分かる言葉を抜き出し、豆太の気持ちを考える。

【発問】 医者さまを呼びに行く、豆太の様子が分かる言葉を抜き出しましょう。

豆太の様子が分かる言葉を抜き出す。

児童が抜き出した言葉は、情景を補足しながら分けて板書する。

医者さまを呼びに行く豆太の気持ちを想像する。

【発問】 豆太はどうして「なきなき走った」のでしょつ。

豆太が泣いている理由について自分の考えをもつ。

豆太が泣いている理由について全体で交流する。

前時までの豆太の様子と比較させながら、豆太の泣いている理由を考えさせる。

4 本時の学習を振り返る。

黒板に書いた坂道を豆太のペープサート（教科書の挿絵を活用したもの）を動かすことにより、医者さまを呼びに行くときの豆太の気持ちに共感させ、本時の学習を振り返らせる。

本時のまとめとして、心に残ったことや思ったことを付せんに書かせ、ワークシートに貼らせる。

評価 豆太が医者さまを必死によびに行く様子や気持ちを読み取ることができる。